

# 住民のための の市政を！！

# ごうつ民報

日本共産党江津市委員会  
電話 52-2633  
FAX 52-7244  
NO. 2401  
2020年5月24日

## コロナ禍による影響 医療機関の実情を調査

コロナ禍について、浜田保健所や市内診療所医師・済生会江津総合病院事務部長に、影響と状況を聴きました。

### 浜田保健所での PCR検査数94人

島根県での新型コロナウイルス感染症のPCR検査の実施総数は、19日時点で1052人で、感染者数は24人(男性14人・女性10人)となっており、入院者16人に対して、すでに8人が退院しています。一方で浜田保健所でのPCR検査人数は94人ですが、これまでのところ陽性となった人はいません。5月8日からPCR検査の条件が緩和され、医師が必要と判断した人全てに検査が行われています。

浜田保健所では「24時間の検査・相談体制が確保されており、現状では対応に心配はない」としています。新型コロナウイルスの相談については、直接一般の病院へ行くのではなく、必ず電話予約の上で保健所へ行くこと

説明がありました。ただ、市内で感染者が発生した場合、市民の日常的な診療に影響が及ぶため、診療所内でのこまめな換気や消毒を徹底しているとのことでした。

市内で感染が広がる状況が生じた場合については、入院施設に加えて隔離施設の準備も必要になるのではないかと認識を示しました。また、浜田保健所が市内にドライブスルー検査所を設置する事態ともなれば、現場での検体採取に協力する必要があります」と話しています。

### 消毒液など 物資不足の懸念

江津市医師会の会長も務める二宮町の能美一政医師からは、今回のコロナ禍によって市内では受診患者が減少している診療所もあることや医療用資材(消毒液・ガウン・フェイスシールドなど)が不足気味となっているものの、現状では大きな影響は受けていないとの

なお、発熱を訴える患者については、済生会江津総合病院に設置された発熱外来(後述)と連携・協力して行っているとのことでした。

### 済生会は外来・入院 の患者が減

済生会江津総合病院では事務部長の内部氏に話を聴きました。済生会では医療資材の不足が問題となっており、医療用マスクについては、汚染の心配のない場合は、医師・看護師でも3日程

### 新型コロナウイルスの相談先

- 該当する人はすぐに相談を(該当しない場合の相談も可)。
  - ◆息苦しさ、強いだるさ、高熱などの強い症状のいずれかがある場合
  - ◆重症化しやすい高齢者、糖尿病・心不全・呼吸器疾患のある人、透析患者、免疫抑制剤や抗がん剤を使用している人で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
  - ◆上記以外の人で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合(症状が4日以上続く場合や解熱剤を飲み続けなければならない場合は必ず相談を)
  - ◆妊娠中の場合も重症化しやすい人と同様、早めに相談を
- ※なお、この目安は相談・受診する目安です。これまで通り、検査については医師が個別に判断します。

帰国者・接触者相談センター  
浜田保健所 0855-29-5970

### 済生会ではコロナに 対応できない

現在、済生会江津総合病院では、救急外来に設置した簡易テントに発熱外来を設けています。「受診者数は1日5人に満たない」としており、発熱外来での対応に問題はありませんが、専属の医師・看護師を配置する必要があるので、通常の業務が圧迫されているとのことでした。内部氏は発熱外来での空気洗浄機などの設置費用について、財政的支援を求めました。

一方で、済生会での新型コロナウイルスへの対応については、集中治療室(ICU)が5床あ

て人工呼吸器も備えてはいるものの、専用の感染病棟ではなく、特に重症の感染者については対応できないとされています。医療行政としては、実際に市内で感染者が発生した場合、どのような対応が必要となるか、具体的に市民に示す必要があります。

悩み・困りごと  
ご相談ください

森川よしひで  
090-7379-1554  
多田伸治  
090-6014-2259

# 「市民の代弁者」の仕事は担っているか？ 江津市議会の新型コロナウイルス対応

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、市民を問わず「自粛」を迫られています。江津市議会でもそれに合わせた動きがあります。

## 行政視察費用を返上へ

江津市議会の森脇悦朗議長は議会運営委員会に対して、2020年度での行政視察の費用221万円を返上することを提起しています。森脇議長は「新型コロナウイルス

ナウイルス対策について、市議会としての態度を示すため」とその意図を説明しました。

5月18日の議会運営委員会で、この提案に市議会各会派は了承しており、今後の補正予算で減額される見通しです。日本共産党江津

市議団からは「現状、今年度中に行政視察を受け入れ可能な自治体があるとは考えられないため、今年度分の返上はやむを得ない。ただ、返上した費用が新型コロナウイルス対策へ再配分されるよう、市長に申し入れる必要がある」との意見を表明しました。

## 政務活動費の返上を言い出す

自民党系会派の政友クラブからは、行政視察の費用返上だけでなく、政務活動

費も返上すべきとの働きかけがありました。江津市議会では各市議に年間12万円の政務活動費を支給しています。ただ、これは議員報酬・手当と異なり、使途は議員活動に絞られ、年度ごとに各市議の領収書を公開しています。日本共産党江津市議団では、政務活動費は議員活動を保証するもので、各市議の判断のもと必要であれば使うべきとの認識から、返上への反対を決めていました。

## 自縄自縛となる 一般質問の制限

江津市議会の「自粛」は、議員の存在意義を危うくする自縄自縛に陥ろうとしています。議会運営委員会では、来月15日開会予定の6月定例会での一般質問について議論され、「会議時間短縮のため、質問者数を絞って各会派1人のみ」との方向性が示されています。一般質問の人数を絞ることに肯定的な政友クラブの市議からは「(閉鎖空間の議場で)長時間にわたって一般質問を行えば、市民から『こんな時に議員はなにをやっているのか』と非難される」「市民が外出自粛で我慢しているのだから、我々も我慢すべき」との意見が。

から寄せられた声を行政へ届け、行政の取り組みへの改善策を提案し、苦しい状況に置かれた市民の命・健康・くらしを守る必要があります。一般質問はそれを具体化するもので、市議会議員としての重要な仕事であり、「我慢する」などという性格のものではありません。しかも、すでに1人一律10万円支給の給付金などについて、国の補正予算を受けて市長が市議会の議決を経ない専決処分を行っており、3月定例会の閉会后、「市議会として」はこの非常時にあつて市行政の決定に全く関与していません。その上に6月定例会での一般質問の質問者数を絞ってしまえば、市議会の役割を果たしているとは言えなくなります。

2018年、スウェーデンの少女グレタさんが始めたひとりで始めた気候のためのストライキは、世界の若者たちに大きな影響を与えました。

日本でも夏の気温が上昇を続け、熱中症で亡くなる人が増えています。昨年、台風15号と19号は、これまで経験した台風とは桁違いで、千葉県では甚大な被害がでました。これら世界で起きている想像を超える災害は、気候変動によるものであると科学者たちは警告を出しています。

## プラごみを減らしたい

私たちもできることを考えずにいられません。一つの方法として、焼却のために高温を要するプラスチックごみを何とか減らしたいと思えます。

プラスチックごみで多いのがペットボトルとレジ袋です。しかし家庭にはプラスチック容器や包装があふれているので、環境を守るために大きな力になります。これが市民の努力とともに行政や企業

の努力が必要で、持続可能な社会へと変えていくため、プラスチックごみをどのように減らすかという問題に、取り組んでもらうよう働きかけが重要になってきました。

そのために、この一般質問の「各会派1人のみ」の方針には、日本共産党江津市議団と社民党系会派の市民クラブが反対しています。

子どもたちが未来に生きていける環境を守るため、

だそう。百歳体操のグループで、家族が1週間にペットボトル飲料を何本購入しているか調べたことがあり。その時、ペットボトルの水は10項目ほどの検査で合格するのに対し、日本の水道水は50項目ぐら

作ったアクリルたわしが、マイクログラスチックの発生源になっていることを知りびつくり。マイクログラスチックは海中の有害物質を吸着し、それを魚が食べると、食物連鎖により人間の健康も脅かす

山崎 淳子

お悔やみ申しあげます  
(敬称略)

16日	村川直子 (69)	江津町
20日	住田晏子 (94)	嘉久志町
20日	黒川博 (94)	波子町